

エネルギー特集号の発刊にあたって

取締役 執行役員

エネルギーセクター長 浜 村 宏 光

2012 年夏、日本国民の知恵と努力、原子力発電所の再稼働などにより厳しい夏の電力需要期を大きなトラブルもなく克服することができました。一方で、この夏を挟んで「日本の将来に向けたエネルギー基本計画」が、国民的議論としても展開されました。資源小国である日本にとってエネルギー政策が、日本の経済成長や生活環境を大きく左右するといっても過言ではありません。

このエネルギー政策を議論するうえで重要なキーワードは「S + 3E」すなわち、

- Safety 安全性
- Energy Security エネルギー安全保障
- Economic Efficiency 経済性・効率性
- Environment 地球温暖化への適合性

の四つです。

とりわけ日本のエネルギー自給率がわずか 4%である現実を踏まえれば、エネルギー安全保障、すなわち、安定的かつ安全にエネルギーを継続的に確保することを基軸として、安全性、経済性、地球温暖化への適合性といった観点を加味し、エネルギーのベストミックスを議論することが重要になってきます。エネルギーのベストミックスとは、もちろん、多様なエネルギーをいかにバランス良く利用してゆくかということです。

IHI グループは、この求められているエネルギーのベストミックスに対応すべく、さまざまな燃料を効率良く熱や電力など有効なエネルギーに変換する技術、再生可能エネルギー利用技術などの研究開発と製品化を進めています。さらに褐炭などの未利用エネルギーの有効活用、バイオ燃料製造技術、省エネルギー技術、燃料のサプライチェーンを支える技術、安定的な電力供給システムに必要な蓄電池技術などさまざまな関連技術分野にも注力しています。

また、多様化するニーズにお応えするため、これらの技術や製品群を組み合わせたシステムとして提案すること、さらには国内で実証された経済性に優れた高効率の製品を海外のお客さまに提供してゆくことが、今後の IHI グループに求められている使命と認識しております。

今回の IHI 技報では、「エネルギー特集号」としてそのエネルギー関連技術・製品の一部を掲載致しました。IHI グループの新しいコーポレートメッセージ「Realize your dreams」（お客さまの夢を IHI グループの技術で実現する）にふさわしく、世界中のお客さまに向けたソリューションの一部としてご一読いただければ幸いです。

